

キッズエンジニア2016で広報活動！

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄1等海佐）は、8月5日（金）、パシフィコ横浜で実施された公益社団法人自動車技術会主催のキッズエンジニア2016を支援した。

同イベントには、各自動車関連企業をはじめ、多くの企業が子供向けのブースを出展しており、約8,000名の親子で賑わった。

神奈川地本は、神奈川県警及び横浜消防局とともに「働くクルマ」の野外展示場において、1/2tトラックの展示を行い、多くの子供たちが乗車し記念写真に収まるなど大いに賑わった。

神奈川地本は、「今後も、地域に密着したイベントに積極的に参加し、多くの県民等に自衛隊をより身近な存在として感じてもらえるよう努めていく」としている。



子ども達に大人気の1/2tトラック展示



後ろの座席がお気に入りの二人

横須賀サマーフェスタでの募集広報

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄1等海佐）は、8月6日（土）、海上自衛隊横須賀総監部で実施された「横須賀サマーフェスタ」に参加した。

猛暑の中、募集課員及び各出張所等広報官が参加して、募集相談ブースを開設し、募集広報活動を実施した。

本活動に先立ち、本部長から広報官に対し、「1名でも多くの志願者情報を獲得、目標達成に向け皆で頑張ろう」と激励の言葉をいただき、終日、本部長自ら多くの対象者に声を掛け、説明する等、陣頭指揮し、広報官を鼓舞した。

今年度は、海上自衛隊横須賀地方総監部募集支援係と合同で、海上自衛隊の制服や迷彩服の試着コーナーを設け多くの募集対象者や子供連れのご家族で賑わった。

また、横須賀地方総監部の募集協力の目玉として、募集対象者に自衛官募集の説明後、「護衛艦いずも」を特別公開として一般公開では見学できない所まで見学させ、「特別感」を付与し、大変喜ばれていた。

広報官の熱意ある募集広報及び上記施策と相俟って昨年度の2倍以上の募集対象者情報を獲得することができた。

神奈川地本は、「今後も、積極的に各種イベントに参加し、志願者の獲得と防衛基盤の拡充に努め目標達成にまい進していく」としている。

援護協力企業に対する体験搭乗「退職自衛官の雇用拡大を目指す」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田辰雄）は、8月6日（土）、立川駐屯地において援護協力企業に対する多用途ヘリコプターUH-1の体験搭乗を実施した。

同企画は、日頃退職自衛官の雇用に協力して頂いている企業に対し、自衛隊への理解促進を図り、退職自衛官の更なる雇用拡大を目指すために実施されたもので、5社の企業から17名が参加した。参加者は、企業の取締役や人事担当者などヘリの搭乗が初めてという方がほとんどであり、皆期待に胸を膨らませながら、晴れ渡る夏空に向かって次々と飛び立って行った。

参加者からは、「自衛官は色々なスキルを身に付けているが、その代表格ともいえるヘリの操縦を間近で見られ興味深かった」「一緒に働いている元自衛官の同僚が、どのような環境で勤務していたのかを知ることができて良かった」などの感想が聞かれた。

神奈川地本は、「今後も退職自衛官の雇用拡大を目指し、さまざまな行事を通じて企業の自衛隊に対する理解促進を図っていききたい」としている。